

令和4年度 九州知的財産活用推進協議会 開催概要

- 九州知的財産活用推進協議会は九州地域の知的財産の普及啓発、活用促進のため平成26年7月に発足。
- 令和4年度は初の福岡県外となる鹿児島県にて開催。企業、自治体、支援機関等の参加のもと、国・自治体の知財関連の施策・取組について情報共有を行うとともに「アジアにおける海外展開」をテーマに議論を行いました。

- 日時：令和4年11月9日（水）13時30分～16時30分
- 会場：SHIROYAMA HOTEL kagoshima 2階アメジスト
（鹿児島県鹿児島市新照院町41番1号）
- 出席者：

議長 宮原隆和 委員（株式会社エルム 代表取締役）

委員 株式会社安川電機、株式会社タカギ、株式会社中山ホールディングス、金剛株式会社、福岡県商工部、佐賀県産業労働部、長崎県産業労働部、熊本県商工労働部、大分県商工観光労働部、宮崎県商工観光労働部、鹿児島県商工労働水産部、日本弁理士会九州会、弁護士知財ネット九州・沖縄地域会、国立大学法人九州工業大学、独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部、一般社団法人九州経済連合会、九州商工会議所連合会、国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター、九州農政局経営・事業支援部、九州経済産業局地域経済部



宮原 隆和 議長



協議会開催の様子



開会挨拶

九州経済産業局長 苗村 公嗣



開催地挨拶

鹿児島県知事 塩田 康一様

令和4年度 九州知的財産活用推進協議会 開催概要

【1.知的財産関連施策の動向】

・知財行政を巡る最近の動向及び九州経済産業局における取組等について



九州経済産業局
榎本 史夫 知的財産室長

知的財産推進計画2022を始め知財を巡る最新動向を解説するとともに、九州経済産業局の知財経営支援施策であるチーム伴走型知財ハンズオン支援、地域ブランド海外展開支援、大学・金融機関との連携等について紹介しました。

・「佐賀県知的財産を大切にし、みんなで守り、育て、新たに生み出す条例」

農産物をはじめとした佐賀県保有の知的財産の紹介の他、令和4年6月に制定された「佐賀県知的財産を大切にし、みんなで守り、育て、新たに生み出す条例」制定の背景や想い、その他知財を守るための県独自の啓発・再発防止対策等をご紹介します。



佐賀県産業労働部
笠原 幸雄 ものづくり産業課長

【2.アジア展開に向けた取組と課題について】

・海外展開における模倣品対策の現状と課題



特許庁
杉山 卓也 模倣品対策室長

模倣品対策の最前線の立場から、インターネット利用事犯の増加等、近年の模倣品の傾向や水際対策強化に向けた国内の動き、官民協力の取組状況（国際知的財産保護フォーラム、真贋判定セミナー等）やSDGsの活用、各種相談窓口等について紹介しました。

・中国における知的財産を巡る現状と課題

中国における知財保護強化等の知財関連政策、統計から見る中国知財の動向や活用状況、冒認商標問題、模倣品侵害と中国政府の対応、海外展開に際しての各種支援メニュー等をご紹介します。



JETRO北京事務所
太田 良隆 知的財産部長

【3.アジアにおける知財活動の実例】

・海外研修生受入と知財を巡る危機管理



株式会社中山ホールディングス
渡邊 美信 開発企画部長

インド工科大学との連携や、海外からのインターンシップ受入など、海外高度人材活用に積極的に取り組む中で、海外高度人材との共同研究開発の際に実際に起きた知財の侵害と賠償請求等の事例をご紹介します。

・海外展開を目指すスタートアップ企業の知財戦略

有機ELディスプレイや照明に用いる次世代発光材料の開発等、海外メーカーとの取引が中心となる中で、技術流出を起こさないリスクマネジメントと設立8年目にして約600件の特許出願の実績を有する独自の知財戦略構築についてご紹介いただきました。



株式会社Kyulux
安達 淳治 取締役CSO